

NO 261

全 仏

9 / 55



報 恩

我々、仏教を頂いて生活をして
いる者にとって、忘れてはならな
い大切なことがあります。
それは「報恩」ということです。
現在の日本は、物質・精神面等
において、恵まれ過ぎて、ともす

ると過去の苦しかった時代を思い
起す気持ちがうすくなつて来ている
ことを感じます。

私の宗門の御開山禅師のみおし
えの中に「恩を知り徳に報ゆるは
是れ聖道」とお訓しなされており
ますが、我が全日本仏教会は、各
宗を通じて、心を一つにして、平
和のために運動を転回しておる以

上、私たちは、限らない物の命に
支えられているという気持ちを忘れ
てはならないと思えます。

報恩感謝の念を胸に、善業を常
に怠ることなく、全一仏教運動を
推進して行く、これが我々にあた
えられた使命だと信じます。

行

シリーズ⑤

托 鉢 (臨済宗妙心寺派)

(解説8面に)

全日本仏教会

現代生活における仏教の実践

WFBタイ大会テーマ

— 執行委員会
で き ま る —

二団体よりの
加盟申請は、
問題もないの
で申請を受け
入れた。
一、世界宗
教論理会議に

第二十三回WFB執行委員会は、第十
三回WFBタイ大会などの議案を討議す
るため、七月三十一日午前九時半より、
タイ国バンコク市のWFB本部会議室に
おいて開催された。

一、前回議事録の承認

昨年十二月の執行委員会の議事録は異
議なく承認。

一、ルンビニ開発計画の報告

タイ仏教徒のグループが、ルンビニ開

発計画の資金のため、八万四千個の仏像
メダル（一個六百元位）を作成し、ルン
ビニ学校建設資金としたので、WFB
として協力して欲しいとの書簡が、ネパ
ール・ルンビニ開発委員長ロックダルシ
ヤン氏より寄せられ、これについては内
容を充分に分析したうえで検討する。

一、加盟申請について
バンクラディッシュ・アグラサラ記念協
会と同国・ミタシヨナリーンサエティの

一、ルンビニ開発計画の報告

会議中心の代表者集会

第二十七回全日本仏教徒会議

第二十七回全日本仏教徒会議は、十

一月一日、東京・芝の浄土宗大本山増
上寺（藤井実広法主）にて、全日本仏
教会の主催で開催される。

準備委員会も数回開かれ、今年度の
大会は「加盟団体代表者集会」として
会議中心となる。なお、テーマは「八
十年代の仏教開発」、また、各分科会の
テーマも次のように決まった。

第一分科会 八十年代における仏教

第二分科会 八十年代における仏教
の理念

第三分科会 八十年代における仏教
の具体策
組織の在り方

大会開催要項、会議の詳細なにつ
いては近日中に発表されるが、準備委
員会と全仏組織部を中心により検討を
かさね、実のある大会となるよう準備
している。

ついて

世界の他の宗教者と協力して、世界平
和人類福祉に貢献しようという、東京大
会宣言第六条を尊重して、WFBとして
出席することとなった。

一、第十三回大会について

現在二十四センターが参加の意志表明
をしている。テーマについては「現代生
活における仏教の実践」が決定。来賓と
して大谷光真（日本）、ク・レオ・フン
（マレーシア）、ウチヤントン（ビルマ）、
ウティティラ（ビルマ）、フルーレ（スリ
ランカ）などの各氏があげられている。
またシッキム国王、ダライラマ親下、タ
イ王妃、タイ宗教大臣なども来賓として
ご招待する。

メッセージは事前に送付してもらうが
明読はごく一部のものとする。

WFB成立三十周年を記念して、タイ

大会において、タイ政府はコインおよび
切手を発行することとなった。また小谷
氏を永年貢献したことで表彰することも
討議された。

第十四回大会については、次回執行委
員会で継続審議する。

一、会計報告

ブリヤチンチョム財政部長より報告が

あり、会費未納センターへは督促するこ
とになった。

一、北京の中国仏教会について
今大会に來賓として趙朴初氏を招くこ
ととなった。

なお、WFB会長問題については、議
題としては非公式的に審議し、結
論として、①ブーン会長を再任。②ブー
ン会長の補佐役としてサンヤ副会長があ
たる。③タイ仏教がこれを強力にバック
アップする。ということになった。

国際専門委員会開く

WFB大会議案など審議

第二回国際専門委員会は、七月二十一
日午後一時半より、全仏会議室において
開催された。柳委員長挨拶のあと議事に
入った。

一、第十三回WFB大会提出議案につ
いて
各委員より様々な議案が提出されたが
討議の結果、次の二案が予定案と決定し
た。

①世界平和に寄与するために仏教徒は
団結しWFBを強化しよう。
②南北仏教の相互理解を深め、東南ア
ジアの安定に寄与しよう。

二、ルンビニ開発問題について
いろいろむずかしい問題のため、七月

三十一日、タイの執行委員会で鎌田部長
より、もう一度ロックダルシヤン氏の真
意をうかがうという結論になった。

出席者―柳了堅、村野宣忠、松浦弘道、
織内七郎、青木孝彰、山口貴美子。

カンボジア難民救援

座談会

ボランティア活動に従事して

各所で喜ばれる移動図書館

カンボジア難民の惨状については、すでに新聞、ニュースなどで報道されたとおりですが、現在では飢餓状態を脱し、キャンプの中は明るさを取戻してきております。すでに物品だけの救援活動から、人的な救援へ、また技能を持った人が望まれるようにかわってきており、教育、宗教により荒れた

心にうるおいを与えられるべく努力がなされております。日本からも曹洞宗や全日仏青が、数次にわたってボランティアを派遣し積極的な活動を展開しております。今回両団体より、現地での活動を伺うことになりました。

磯山 本日はお忙しいところをありがとうございます。難民救援といっても色々な方法があります。お話しいただきたいのは、曹洞宗、全日仏青が難民キャンプに数度行かれてボランティア活動をなさ

出席者

- 有馬 実成 曹洞宗難民企画委員長
- 石川 徹海 事務局長
- 摩尼 和夫 全日仏青実動担当者
- 丸山 邦雄

- 安本 利正 全仏国際文化局長
- 鎌田 良昭 国際部長
- 磯山 福正 文化部長(司会)

写真は、出席の手前左から鎌田、石川、有馬、安本、摩尼、丸山の各師

れておりますが、その現地での状況を中心にお願いしたいと思います。安本 昨年の秋からすでに日本の仏教界も活動に入り、暮からは各宗が積極的に動いてくれました。全仏としては現状ではむずかしい点もあり、各宗の動きを統括して連絡をとりあうべく、連絡協議会を発足させたわけでありまして。特に全日仏青、曹洞宗が大きく動いておりますので、具体的な活動状況や、今後の指針をいただければと思います。摩尼 十二月以降毎月足をばこんでいるわけですが、最初に行ったときは衛生状態のもっとも悪いときで、サケオキャンプ(現在は他の場所に移動。二万八千人収容)では悲惨な光景でした。しかし日を追うごとに明るさをとりもどしてきてましたね。

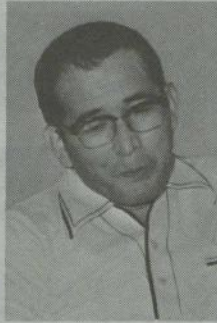
丸山 私は二月になってからですからキャンプも良く整備されました。摩尼 全日仏青の場合は、WFBYに日程をばまかせまして、毎回十人前後が十日間位の日程で活動してきております。

有馬 まあ、キャンプの様子というのは話せばきりがないんですが、全日仏青さんに少し遅れていったんですが、やはり悲惨な状況でした。特に感じたことは、肉身を目の前でくしたり、極貧の中で飢えをしのいだりという地獄絵巻さながらの中から生きのびてきた人たちに涙もなければ笑顔もない、そういう人々に再び明るさを取りもどしたいということですね。我々にとっては、せめて子供たちに明るい歓声を呼戻すことができないであらうか、ということから活動に入ったわけです。したがって子供に対する教育などを模索しながらプロジェクトを組んでおるわけです。磯山 やはり教次にわたってキャンプへ行かれてますが、どの位の人数になりますか。石川 延べ五十三名が活動してきております。

有馬 むこうに事務所をもちまして、三月からは駐在員を置いております。磯山 ホー、駐在するということは大変なことですが、まず全日仏青は若い僧侶ばかりだと思いますが、実際の活動ということになりますとどうですか。摩尼 有馬先生も言っておられましたね、ほぼ教育活動ですね。国連のアルン

担当官と相談しましてやったわけですが、すでに学校ができてまして、サケオキヤンプは代用教員ばかりで（カオイタンキヤンプは正式教員がいる）、アルンさんも苦労されてましたが、彼らのつくりましたカリキュラムにより、その補助をするわけですね。特に学級編成が大変みたいで、指導も困難なようでしたが、我々が行きましたら「かわったのが来た」ということで（笑）、非常に子供たちが熱心でしたね。子供たちに言葉は通じませんが、目が、目を輝やかせてねエ、すばらしいですよ。

目を輝やかし出迎え



有馬氏

有馬 我々の方は、一番重点を置きましたのは移動図書館なんです。スタートは手探りでしたが、我々が行きますと本当に目を輝やかして迎えてくれます。もう、縄飛び一つあれば何時間でもやっています、子供たちに必要なのは「学ぶ」ということだろう、ということ。移動図書館を中心にやろうということになったわけですが、本をどうするかということとで本の複製作業からはじめまして、輪転機とファックスを持ち込みました。そこで駐在も必要となったわけですが、タ

イ語の絵本や日本語の本などをクメール語に翻訳するなり大変な仕事があります、非常に喜ばれております。（実際に翻訳し印刷した絵本を示しながら）また夜は視聴覚ということで映画会などをやっております。

磯山 大変に苦労されていることがよくわかりましたが、各宗で救済募金をしておりませんが、何かアドバイスとか、今後の希望ににつきまして……。

摩尼 まず長期的な計画書がなければダメですね。キャンブに入るには一カ月以上の計画書を提出し、その許可が必要なのです。

有馬 プロジェクトが絶対必要の条件ですよ。人を派遣しなくても、まずプロジェクトを組まなくてはダメです。

摩尼 当初は誰でもよかったのですが、現在は、手に技術をもった者、その道の専門家（教育など）が望まれていますね。

説教集会に一人



丸山氏

丸山 初めにキャンブに行ったとき、まず何をすればいいのか、何ができるかという心配がありましたね。

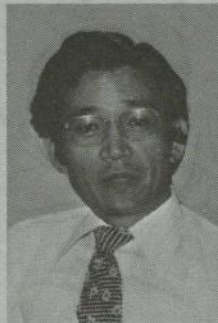
摩尼 そう、我々は特別の技術をもっ

ているわけではないね。考えていったことも現場（キャンブ）では、状況が違っていますからね。

有馬 たしかにそうですね。

摩尼 いや、曹洞宗でもそうかと思いますが、我々には技術は何もないということでしたが、WFBYのブロック会長が「仏心はかけがえのないもので、仏心さえあればよいですよ」と言ってくれましたねエ。（かみしめる口調で）

乏しいなかのご供養



摩尼氏

摩尼 ワットといっても最初は小さなテントの仮ワットだったんですが、今はずいぶん大きくなりましたね。タイ仏教が仏像を安置しておりますが、集会は感動すらおぼえますね。日本、タイ、カンボジアの仏教徒が台同で、心を一つに結びつけるということはすばらしいことですね。

磯山 心の結びつきがでてくると打解けてくるでしょうね。

摩尼 そうなんです。キャンブの中の一軒に招待されてね。ご供養してくれるわけですよ。自分たちも満足に食べてないのにご馳走してくれるわけ

有馬 その通りですよ。教育と宗教が重要な課題であり、心のやすらぎを求めているのがわかりますね。

摩尼 特にキャンブでは飢餓状態を脱していますから、特に宗教をもとめてきています。

丸山 ワット活動というか、お寺での説教集会には多勢の人々が集まってきて合掌していますよ。我々が行ったときも一万人以上が集まりビックリしました。

すが、とてもありがたいですね。（味や衛生面を考えると、と前向きして）

有馬 ありがたいことですが、これも大変といつては失礼だが、やはり大変なことでしたね。（このあとトイレの話など苦勞話あり）

キャンブにお寺を



石川氏

石川 まあ現地も大変なんです。救援活動の事務活動も非常に多いです。そういう意味では支援体制を充実させていかなければ無理ですね。予想以上の事務量になりますよ。

磯山 適切なアドバイスをありがたうございます。今後の活動についてもお話しを伺いたいと思います。

摩尼 随時、ボランティアを派遣しますが、若い人に参加してほしいですね。宗派にとらわれることはありませんし、特別の技能を持たなくてもいいです。

有馬 一つの大きな希望として、サケオのニューキャンにはお寺がないんですね。ここに日本の仏教徒が一丸となってお寺を建てたいと思ってるんです。カンボジアは、すでに心がバラバラで、それを一つにまとめるには、どうしても仏教が必要なんです。(語気を強めて) 摩尼 まったくその通りで、カンボジ



子どもたちにも喜ばれた移動図書館

ア人は人種も色々ですが、今は人身バラバラだそうですね。旧サケオキャンにはあれだけ(二万人)の人がお寺に集まるのですから、ニューキャンに建てるというのはいいいですね。それを日本仏教徒でやろうというのですから。丸山 キャンへお寺を一つ建てるということは、日本の状態からすれば、仏教徒一丸となってやればそうむずかしいことではないですね。また、各宗でやっている救援募金の一部をあててもよいのではないですか。



会場を一杯に埋めた仏教集会

有馬 何か物だけをもっていくというのでなく、全日本仏教会がプロジェクトをもって、それを推進していくことが救援じゃないでしょうか。

摩尼 これはサケオだけでなく、あちらこちらのキャンに建てたいですね。もう少し具体的になるといいですけど。

有馬 一応のたたき台は作ってみてあるんです。(設計図などを提示)

摩尼 日本の仏教徒が一丸となってお寺を建てたいですね。

磯山 たいへんすばらしい提案だと思いますね。全仏としてもさっそく考えていきたいと思えます。

WFBに常設したい 仏教救援センター

摩尼 もう一つ提案をさせていただきます。WFBの中に常設機関として「デヴィスト・リリーフ・サービス」といったものをつくってほしいですね。仏教徒が難を受けているときに、すぐ慈悲をそそぐ、ということが実施されるというのですね。WFBに提案してもらえばいいと思いますよ。

有馬 必要ですよ。これからというより、カンボジアに平和がよみがえればアンコールワットの復興ということができます。これは世界の仏教徒の問題です。またアフガンの仏教遺跡がどうなっているか、すぐにもくる問題がありますからね。

鎌田 さきほどからお話を伺わせて

いただきました。ご苦労のほど感謝もうしあげるとともに、最後に二つの重要な提案もいただきました。かつてバンクラディシユ難民のために孤児院を建てましたが、さっそく連絡協議会にはかりまして検討したいと思えます。またWFB大会が十一月にありますので、WFBにも動きかけをしていきたいと考えております。

磯山 現地で活動しなくてはとても聞くことのできない貴重なお話をありがとうございました。今後一層のご活躍をお祈り申し上げます。

インドシナ難民の収容施設

仏教界へ協力を要請

内閣官房「インドシナ難民対策連絡調整会議事務局」では、今日までわが国におけるインドシナ難民を約三千人お世話を通じて、日本赤十字社、宗教団体などのボランティアにゆだねられてきております。この度、内閣官房では、全日本仏教会に對しまして、仏教界でインドシナ難民の一時収容施設の提供をしてほしい旨の申し入れがありました。建物(部屋)の提供、食費、光熱費、治療費、通訳費用は別途実費支給されます。

詳しくは、内閣官房「インドシナ難民連絡調整会議事務局」TEL(581) 5977にお問い合せ下さい。



⑦

ビルマの堅琴

太平洋戦争中、ビルマ方面の日本人戦死者は十八万五千人に上る。竹山道雄氏の小説『ビルマの堅琴』は、ビルマの戦場に散った戦友のため、戦後生き残った一兵卒がビルマの比丘にな



戒壇堂を出て、信者の衣類に布の上を歩む時、五体投地の礼拝をうける

り、ビルマの堅琴を手にかけ日本の懐かしい曲を奏しながら想盡の旅をつづけるという話である。

日本人の感覚では、何の疑問も生じないこのビルマ僧の行動も、ビルマの比丘生活を少しでも知るなら、これは全く比丘としては考えられぬ奇異な行為である。仏陀の日常生活を規範として出来た戒律を守る南方仏教の比丘が、仏陀のなさらぬ死者を弔うようなことはしない。また心を騒がす歌舞曲の場に臨むことは戒律に触れるから、比丘が自ら堅琴を演奏するに及

ビルマの仏教寸見

青木正道

びもつかぬことである。実際一昨東京都で世界仏教徒会議の閉会式の余興に念仏踊りが始まると、心あるビルマ僧はロビーへ出て行かれた。

比丘の戒律生活を支える民衆

ビルマの比丘の守る戒律が二百七十戒といわれると、日常生活は如何にも不自由に思われるが、実際にはそれ等の戒律を保ち易いように、戒律に理解ある熱心な仏教徒の民衆によって支えられる。例えば日本のように法事のあとの会食の席で「まあ和尚さんから」

とお酒を勧めるならば不飲酒戒に厳しい南方仏教では勿論あり得ないし、午後には食べものや飲みものを布施するようない無理解の信者は居ない。ビルマの比丘は正午から翌朝までお茶も牛乳も飲まない非時食戒を守っている。家族の中には必ず僧院で比丘生活を経験した人が居るだろうから、比丘に対する心掛けも徹底している。

五体投地

ビルマで比丘になった日本人が誰しも感激するのは、戒壇堂で授戒式を終えて正式に比丘となり、ビルマ僧の袈

装を纏って外へ出た途端に、大衆に比丘として帰依される時である。また戒律を犯す間も無いところから、余計に清浄なので新発意の誕生を祝って人々は日用品から線香・仏像などさまざまな品を我れ先に、と僧に手渡して布施される。(僧は手渡されたもの以外に、勝手に使ったり食べたりすれば不偷盜戒にふれる。)ときには比丘に對する最大の敬意を接足作礼で表わされる。全く予期せぬ真摯な行為に一瞬戸惑い心から感激してしまふ。早朝の托鉢の際

にも、また舗装もない地べたに土下座して、心から僧に帰依の合掌をされる時、比丘となった者は戒律堅固になるうとする気持は自から湧いてくるのである。

僧院の入口で比丘以外の人は必ず素足になる。広い境内では慣れぬ者には不自由であるが、ビルマではよく守られている。日本人が寺々を觀光で訪ねるように多くのビルマ人が有名なパゴタを訪ねるが、その中に祀れる仏陀の像に對して、誰れしも瞑目合掌礼拝される。ビルマ人は本當に敬虔な仏教徒である。

布施の中で悦びを求める仏教徒

先般、同じ南方仏教のタイ国内の難民キャンプを訪れた日本僧が、極貧の生活を強いられる難民の人々から供養を平然と受けているタイ比丘の姿に接し憤慨されたそうであるが南方仏教を理解するなら何の不思議もない。仏陀と同じ日常生活をして戒律を守る比丘に對する民衆の敬意の心は深く、比丘に布施する人々のよこごびの心は計り知れない。南国の夜明けは早い。それでも真夜中から仏教徒の家々では夜明けと共に訪れる僧の托鉢に備えて、食事の用意がなされている。ご飯は勿論いく品かのおかずも。そういう習慣はビルマに仏教が興った十一世紀に始まり延々と今日まで続いているのである。(元ビルマ留學僧)

海外布教の現況と展望

④

曹洞宗

めざす禅の挙揚

曹洞宗の海外布教は、明治二十八年台北市に台湾曹洞宗大本山別院が創立されたに始まる。以来、八十有余年が経過し、その間に、一、六〇〇人余りの開教師を派遣し、約四〇〇ヶ寺の寺院並びに、布教所を開設してきた。現在は、ハワイ・北米・南米、そしてヨーロッパへと、その教線を拡張している。

開教の端緒

かつて、樺太をはじめとして朝鮮・満州・台湾・北支・中支・南洋の各地では明治から大正期にかけて盛んな開教が展開された。その内容は、邦人への慰問や従軍による布教であった。それは、当時の国際事情と、それに伴う邦国の国策路線に則り、一気に東アジア一帯に繰り広げられたのである。

国策に沿ったとはいえ、開教師の身命を挺した布教活動が各地に寺院を建立させ、日本仏教を宣布ししめたのは事実である。

戦後の開教

一方、ハワイ・北米・南米の開教は、開拓移住した邦人をもとに、現地の要請に心じ始められた。異郷に住む人々に魂の憩いの場を提供し、祖先奉祀の習慣を

通じ、現地の日本人、さらにその子孫である日系人を対象に布教がなされていった。こうして現在では、ハワイ・北米・南米の各管区に、別院が建立され開教総監部が設けられている。

ハワイでは、全島に十ヶ寺の寺院があり、大山興隆総監以下十三名の開教師がその任にあたっている。各寺では、日曜礼拝・仏教青年会・婦人会を中心に、生け花や茶道クラスを設け布教活動を計っている。さらにハワイでは、各寺院に日本語学校が併設され、日系人社会の基盤となり、重要な活動となっている。

また北米では、ロスアンゼルスの人町に近い南ヒュイット街の別院に総監部が置かれ、山下顕光総監を中心に四名の開教師が駐在している。最近カリフォルニアでは、日系人が郊外に移る傾向にあり、その為に、布教活動は広範な地域に及ばざるを得ず、文書等による布教活動も盛んである。

また、サンパウロを中心に、南米には五ヶ寺の開教寺院がある。ここでも檀信徒が各地に散在しており、この点北米と同様である。ここでは、自動車による巡回伝道が行なわれている。南米の新宮良

範総監は、数日をかけて檀信徒を訪問することも度々であると言った。

こうして日系人を対象とした開教は、戦争を境いに、一層と充実が計られ安定期を迎えた。また日系人社会も、戦下の苦難の時をのり越え、新世代の抬頭を見た。当然、そうした変化に対応すべく、開教体制の刷新が求められ、日・英語の常用經典や、仏教礼拝法・讚仏歌集等の刊行がなされた。

これに伴い、現地語による布教活動が不可欠の問題となり、さらに英語を話す若い開教師が切望されている。これに対応すべく、北米の別院では研修所が院内に開かれ、現地での開教師養成にひとつめの成果を挙げつつある現状である。

禅の発揚

以上のような日系人への開教とは別に白人を対象とする新たな開教が始まった。北米・南米そしてヨーロッパでは、禅センターを中心として禅の実修に真剣に取り組んでいる。この白人の禅仏法への志向は、特に吾々を驚かせることがある。彼らは禅を通じ、東洋の鍛え上げられた精神に近づこうとしている。その憧憬は、各地にかつての『叢林(僧伽)』を形成せしめているようである。シカゴ・ニューヨーク・サンフランシスコ・ロスアンゼルス・ロングビーチ・タサハラ・マウ

ント・シヤスタ・ミネソタ等の各地には、大小さまざまな禅センターが開かれ、禅の規矩に従って日々の行事が営まれている。さらには独自に各種の生産活動や製縫・出版事業を通じ現地に根を張り、徐々にその基盤を固めつつあるのが現状である。

ヨーロッパ開教

曹洞宗では、昭和五十一年に、パリの禅道場にヨーロッパ総監部を開設した。十五万人を数える信徒は、弟子丸泰山総監のもと禅の修行に励んでいる。

このような海外の動きは、更に日本国内での修行を希望する者が出て来てそれを受け入れる僧堂(禅の修行場)の建設が急務とされている。従来の僧堂では、言語や風習の違いと、現在安居中の修行僧とのかね合いもあって容易に受け入れられない場合がある。国際的視野に立った禅道場の建立は、今後の禅仏教の行方を示唆することであろう。

伝道史の刊行

以上のように、土地やその時勢に応じ曹洞宗の開教は、さまざまな形体を取ってその途が開かれてきた。そうした陰には、開教師の不惜身命の浄行があった。こうした開教師諸師の足跡を記録しようとして、十数年の歳月をかけて、「曹洞宗海外伝道史」の刊行をすすめている。本書は、永年開教に携わった先徳の偉業を記すだけでなく、新しい世紀にむかって開教のよるべき姿となり、広く活用されるよう期待されている。

機構改革委員会開く

会長選出など六議案審議

第五回機構改革特別委員会は、六月二十七日午後一時より、知恩院和順会館において開かれ、全仏・日野総長挨拶のあと藤首委員長を議長に議事に入った。

一、前回委員会の経過を中村部長より報告。

一、理事会に報告の中間答申について豊田副委員長より報告。

理事会報告の中間答申の問題点の検討で、事務局より、会長選出宗派を現在の四宗派から、上位十宗派の中で特別負担金を五十口以上持っていただける宗派の中から選出する。特別負担金五十口以上の宗派の代表者によって会長推戴委員会をつくり、会長にふさわしい方を加盟団体の中より推戴していただく。宗派グループの中で話し合って、その中から会長

を推戴する。など六案が提案され審議された。

また事務局の局部制についても討議された。次回は八月二十七日に大谷派にて開催予定。

出席者―土屋孝喜(妙心)、藤首克祐(本派)、豊田英世(日蓮)、伊東康雄(浄土)、鈴木道雄(豊山・代)、可児光永(天台・代)

◇掲◇示◇板◇

真言宗智山派

智山派では、別所弘因宗務総長の退任に伴い、小沢照禪師が選出された。

真言宗御室派

御室派では、本山完海宗務総長の退任に伴い、橋本隆心師が選出された。

東京都仏教連合会

東京都仏では、金子日威会長の退任ではない。

表紙の写真

托鉢

古来、托鉢とは「鉢をさげしける」と訓まれてきた。しかし「托」字にはさげの意はなく、おす、ひらくの意味である。托を託の同音義と解すれば、食物をはじめとした施物は施主の志に委ね託すものであり、受者は施物の多少、好悪などを云々すべきもの

ではない。

いすれにしても托鉢とは、食事、あるいは行乞のことである。「無門関」の徳山托鉢は食事のことである。しかし後世、托鉢といえは主として乞を指すようになった。

伴い、新会長に小峰順誓師を選出した。

愛知県仏教会

愛知県仏では役員改選がおこなわれ、会長・木村正範、事務局長・矢神智厚の両師が選出された。

哀悼

船口 曜子氏(前全日仏婦事務局長)

八月三日、肺炎に心不全を併発のため死去。八十歳。

全日本仏教婦人連盟の発足以来、今年三月まで、同事務局長として、仏教婦人運動ひとすじの功績は大きい。その間、全仏評議員、監査をつとめられた。

事務総局録事(七、八月)

(七月)

八日 文化会議運営委員会
九日 局内会議
大平首相葬儀参列

全仏大会準備委員会

二十一日 国際専門委員会
二十六日 局内会議
三十一日 WFB執行委員会

(八月)

十九日 大会準備委員会
二十二日 第十三回日本仏教文化会議
二十三日

二十五日 東北ブロック会議

カンボジア難民救援連絡会議
二十六日 山形県仏教会十周年大会
二十七日 第六回機構改革特別委員会

寺院用具

浅草通り五鳳会加盟店

株式会社 決田商店

東京都台東区寿2-10-9 (地下鉄田原町駅前)

電話 代表 (841) 4965

東京都港区芝公園四丁目七十三
電話 〇三(四三七)九二七五

8ミリカラー・スコープ120分 ¥110,000 本誌読者特別価格 ¥99,000 (昭和37年作)



専用スコープ付高級8ミリ映写機発売中!!

TACNON 808-OM 標準価格 ¥125,000 特別価格 ¥98,000

●お申込みは直接郵便又はお電話で下記へ。*分割頒布も致します。
●お申込み次第発送致します。●代金は現品到着後お送り下さい。



大映映画株式会社映像事業部
東京都港区新橋3-10-9(第5番ビル7F) 千105 〇3(436)3760-3624